

第3回 若手研究者総合学術研究集会

呼びかけのことば

学術は本来学際的であり総合的なものです。それぞれの専門分野で蓄積した知を持ち寄り、現代が直面する課題と切り結びながら、それらを総合化することは学者・研究者の本来的な役割です。幸い、日本科学者会議には30代～40代の「若手」研究者が数百名の規模で集まっています。しかし、この世代が一同に集まって自由に議論する場はこれまであまり設けられてきませんでした。

そこで私たちは、一昨年「若手研究者総合学術研究集会」を新たに立ち上げました。これは、この世代の研究者が一堂に集まり、互いの専門と関心に基づいて学び語りあうことのできる場を設けることを目的としたものです。

第3回目となる今回は、「〈知〉をめぐる政治」をテーマとしました。昨今の、大学をはじめとした〈知〉に対する「政治」の動きが活性化しています。この背景には何があり、私たちはどう向き合えばよいのかについて、幅広い観点から討議をしていきたいと思えます。ぜひ、皆様お誘いあわせの上奮ってご参加ください。

日 時：2018年9月29日（土） 13:00～18:00

会 場：早稲田大学 戸山キャンパス 31号館201教室

参加費：一般1,000円 学生・院生500円

懇親会費：一般4,000円 学生・院生2,000円

※当日、会場にてお支払いください。

参加申し込み方法

参加希望者は、氏名・ご所属・懇親会出欠の有無を明記のうえ、9月21日（金）までに、下記アドレスまでご連絡ください。

※当日参加も受け付けますが、懇親会会場の予約の都合上、事前にお申し込みいただければ幸いです。



参加申し込み先：wakate.jsa@gmail.com

事務局：加賀美 太記（就実大）

《主催》日本科学者会議（JSA）若手研究者問題委員会

第3回 若手研究者総合学術研究集会

〈知〉をめぐる政治

【趣旨】

一部の政治家やメディア、右翼活動家などによるフェミニズム批判や歴史修正主義運動、あるいは地方議会などにおける大学教員のバッシング、理事会による独断的な教員解雇や研究内容への介入など、現在様々なかたちで〈知〉とその基盤を掘り崩す「政治」が活性化している。

こうした状況が生じている背景には何があるのか？ わたしたち研究者はどう向き合っていけばよいのか？ 眼前の「〈知〉をめぐる政治」について、幅広い観点から討議をしていきたい。

＜司会＞森原 康仁（三重大）

13:00 ～ 13:10 趣旨説明

13:10 ～ 14:50 第1セッション：学術研究をめぐる「政治」

- | | |
|--------------------------|-------------|
| ① 「ジェンダー・『慰安婦』問題について（仮）」 | 熱田 敬子（早稲田大） |
| ② 「『歴史戦』をどうとらえるか」 | 佐々木 啓（茨城大） |
| ③ 「バイオ研究者からみた研究費獲得競争」 | 久米 鏡花（広島大） |

15:00～16:40 第2セッション：大学と大学教員をめぐる「政治」

- | | |
|------------------------|---------------|
| ① 「公立大学における地方議会の介入（仮）」 | 三宅 裕一郎（日本福祉大） |
| ② 「大学改革と首都大学東京」 | 杉田 真衣（首都大） |
| ③ 「岐阜大・名大の統合をめぐる（仮）」 | 南出 吉祥（岐阜大） |

16:50～18:00 総合討論

※終了後、早稲田駅周辺で懇親会を行います。